

中学校第1学年 国語

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	21	66.2
	主として「活用」に関する問題	4	60.9
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	2	37.6
	書くこと	1	61.9
	読むこと	7	64.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	67.1
評価の観点	話す・聞く能力	2	37.6
	書く能力	1	61.9
	読む能力	6	64.4
	言語についての知識・理解・技能	16	69.4
問題形式	選択式	15	66.4
	短答式	9	64.1
	記述式	1	61.9

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	
1 一 1	(1) 文脈に即して漢字を正しく書く(感心)	○				○			○		○			68.6
1 二 2	(2) 文脈に即して漢字を正しく読む(かわす)	○				○			○		○			73.2
1 三 3	(3) 文脈に即して漢字を正しく書く(優しく)	○				○			○		○			80.5
1 四 4	(4) 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する	○			○				○		○			80.9
1 五 5	(5) 文章の展開に即して会話文の主体を捉える	○			○				○		○			53.0
1 六 6	(6) 文章の展開に即して内容を理解する	○			○				○		○			54.3
1 七 7	(7) 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分の考えをまとめる		○		○				○		○			59.9
2 一 1	(8) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(つじつまが合う)	○				○			○		○			77.8
2 二 2	(9) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(手を焼く)	○				○			○		○			83.3
2 三 3	(10) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(花が一輪)	○				○			○		○			83.8
2 四 4	(11) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(石の上にも三年)	○				○			○		○			82.8
2 五 ア 12	(12) 熟語に使われている漢字の意味を正しく理解する(中毒)	○				○			○		○			60.9
2 六 イ 13	(13) 熟語に使われている漢字の意味を正しく理解する(中略)	○				○			○		○			66.1
2 七 三 14	(14) 字形を整え、文字の大きさ、配列に注意して書く	○				○			○		○			76.0
2 八 四 15	(15) 文の構成を理解し、主語を捉える	○				○			○		○			45.1
3 一 1	(16) 文脈に即して漢字を正しく書く(捨てる)	○				○			○		○			83.2
3 二 2	(17) 文脈に即して漢字を正しく書く(印象)	○				○			○		○			62.4
3 三 3	(18) 文脈に即して漢字を正しく読む(みちびく)	○				○			○		○			92.7
3 四 二 19	(19) 文脈に即して接続詞を適切に使う	○				○			○		○			41.9
3 五 三 20	(20) 場面の展開に即して適切な文を補う	○			○				○		○			62.6
3 六 四 (1) 21	(21) 主語と述語との関係を適切に捉えて話す	○		○		○	○				○			29.3
3 七 (2) 22	(22) 表現の技法について理解する(擬人法)	○				○			○		○			32.4
4 一 23	(23) 資料に書かれた情報をとらえる		○		○				○		○			75.9
4 二 24	(24) 話し言葉の特徴を理解してわかりやすく話す		○	○				○			○			45.9
4 三 25	(25) 資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く		○	○	○				○		○			61.9

中学校第2学年 国語

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
問題	主として「知識」に関する問題	19	63.1
	主として「活用」に関する問題	6	51.5
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	2	55.0
	書くこと	3	48.8
	読むこと	12	49.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	11	72.6
評価の観点	話す・聞く能力	2	55.0
	書く能力	3	48.8
	読む能力	9	50.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する知識	11	72.6
問題形式	選択式	6	70.3
	短答式	17	57.2
	記述式	2	56.4

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率 (%)
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識	選択式	短答式	
1 一 1	(1) 文脈に即して漢字を正しく書く (笑った)	○					○			○	○		98.0	
1	(2) 文脈に即して漢字を正しく読む (けらい)	○					○			○	○		94.3	
1	(3) 文脈に即して漢字を正しく読む (めがね)	○					○			○	○		86.8	
1 二	(4) 文脈や描写に着目し、表現の意味を正しく捉える	○				○			○		○		79.1	
1 三	(5) 文脈に即して語句の意味を正しく捉える	○				○			○		○		60.4	
1 四	(6) 文脈や描写に着目して登場人物の心情を読み取る	○				○			○		○		19.5	
1 五	(7) 自分の考えを体験と関連づけて理由を明確にしながらかく		○		○	○			○			○	56.8	
2 一	(8) 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む (にわか)	○					○			○	○		71.0	
2 二	(9) 古典と現代文とを対応させて内容を捉える	○					○			○	○		36.4	
2 三	(10) 動作の主体を捉える	○					○			○	○		79.3	
2 四	(11) 古語の文脈上の意味を的確に捉える	○					○			○	○		73.3	
2 五	(12) 書き手のものの見方や考え方をつかむ	○					○			○	○		53.7	
3 一 1	(13) 文脈に即して漢字を正しく書く (似て)	○					○			○	○		83.4	
3	(14) 文脈に即して漢字を正しく読む (けいえん)	○					○			○	○		78.1	
3	(15) 文脈に即して漢字を正しく書く (過程)	○					○			○	○		44.2	
3 二	(16) 文章全体の構成や展開を捉える (接続詞の働き)	○				○			○		○		75.5	
3 三	(17) とらえた情報を、条件にあうように的確に表現する	○				○			○		○		51.3	
3 四	(18) 必要な情報を的確に読み取る	○				○			○		○		34.8	
3 五	(19) 前後の段落に注意しながら必要な情報を的確に読み取る	○				○			○		○		29.0	
3 六	(20) 必要な情報を読み取り、該当するものを選ぶ	○				○			○		○		50.3	
4 一	(21) 前後の表現に注意しながら、内容を的確に捉える		○	○				○			○		64.1	
4 二	(22) 必要な情報を読み取り、内容を的確に捉える		○	○				○			○		45.9	
4 三	(23) 読み取った情報を、的確に表現する		○		○				○		○		52.5	
4 四	(24) 読み取った情報を、条件に合うように的確に表現する		○		○	○			○		○		33.6	
4 五	(25) 自分の立場を決め、理由を適切に説明する		○		○	○			○			○	56.0	

中学校第1学年 数学

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	16	64.0
	主として「活用」に関する問題	6	37.2
学習指導要領の領域	数と式	10	54.7
	図形	5	55.0
	関数	4	58.7
	資料の活用	3	63.3
		0	-
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	6	37.2
	数学的な見方や考え方	8	49.5
	数学的な技能	8	72.3
	数量や図形などについての知識・理解	8	72.3
問題形式	選択式	6	65.8
	短答式	15	54.3
	記述式	1	37.2

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	
1 (1) (1)	分数と小数の乗法の計算ができる	○		○					○			○		71.4
1 (2) (2)	計算のまきりにしたがって計算することができる	○		○					○			○		67.0
1 (3) (3)	自然数の意味を理解している	○		○					○		○			62.9
1 (4) (4)	具体的な場面で数量の関係を捉え、比例式をつくることができる	○		○					○			○		-
2 (1) (5)	整式どうしの減法の計算ができる	○		○					○			○		53.2
2 (2) (6)	数量の関係を文字式で表すことができる	○		○								○		34.2
2 (3) (7)	1を超える割合を百分率で表す場面で、基準量と比較量の関係を理解している	○		○					○		○			64.2
2 (4) (8)	数量の大小関係を不等式で表すことができる	○		○					○			○		54.7
3 (1) (9)	二元一次方程式の解の意味を理解している	○		○					○		○			-
3 (2) (10)	一元一次方程式を解くことができる	○		○					○			○		60.6
3 (3) (11)	2通りに表される数量に着目し、文字を用いた式や数で表し、一元一次方程式をつくることができる	○		○					○			○		-
4 (1) (12)	直方体を構成する面について理解している	○			○				○		○			86.9
4 (2) (13)	三角定規の角の大きさを用いて、角の大きさを求めることができる	○			○				○			○		51.7
4 (3) (14)	展開図に示された円柱の側面の横の長さを求めることができる	○			○				○			○		57.1
5 (1) (15)	反比例の意味を理解している	○			○				○		○			50.7
5 (2) (16)	2つの数量の関係を捉え、数量関係の性質を選ぶことができる	○			○				○		○			87.8
6 (1) (17)	度数分布表から正しく情報を読み取ることができる	○			○				○			○		82.6
6 (2) (18)	度数分布表から最頻値の属する階級を求めることができる	○			○				○			○		91.4
7 (1) (19)	具体的な事象の中で、絶対値や正の数・負の数を使った計算ができる	○		○					○			○		47.3
7 (2) (20)	指定されたルールの中で、正の数・負の数の計算が活用できる	○		○					○			○		31.9
8 (1) (21)	具体的な事象の中で、最も適した概数を考察し、問題解決に活用することができる	○			○				○			○		15.9
8 (2) (22)	単位量当たりの大きさを理解し、およその個数を求めることができる	○			○				○			○		53.4
8 (3) (23)	単位量当たりの大きさをういて全体の個数を求めることができる	○			○				○			○		42.7
9 (1) (24)	与えられた情報や図をもとに角の大きさを使って、図形の性質を説明することができる	○		○									○	37.2
9 (2) (25)	与えられた説明の筋道を読み取り、図形の角の性質を使って説明を完成させることができる	○		○					○			○		42.3

中学校第2学年 数学

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	19	60.8
	主として「活用」に関する問題	6	25.4
学習指導要領の領域	数と式	14	57.4
	図形	6	47.3
	関数	4	34.7
	資料の活用	1	35.7
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	-
	数学的な見方や考え方	6	25.4
	数学的な技能	12	58.3
	数量や図形などについての知識・理解	7	65.0
問題形式	選択式	10	56.9
	短答式	13	51.9
	記述式	2	31.6

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)	
				数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式		記述式
1 (1)	(1) 分数と小数の乗法の計算ができる	○		○					○			○			70.5
1 (2)	(2) 計算のきまりにしたがって計算することができる	○		○					○			○			76.8
1 (3)	(3) 自然数の意味を理解している	○		○						○	○				41.4
1 (4)	(4) 正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結びつけて理解している	○		○						○		○			88.3
2 (1)	(5) 整式どうしの減法の計算ができる	○		○					○			○			77.5
2 (2)	(6) 数量の関係を文字式で表すことができる	○		○					○			○			32.4
2 (3)	(7) 等式の性質を用いて、目的に応じて式を変形することができる	○		○					○			○			74.6
2 (4)	(8) 1を超える割合を百分率で表す場面で、基準量と比較量の関係を理解している	○		○						○	○				64.6
3 (1)	(9) 二元一次方程式の解の意味を理解している	○		○						○	○				67.4
3 (2)	(10) 簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	○		○						○		○			67.2
3 (3)	(11) 着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し連立二元一次方程式の意味を考察することができる	○		○					○		○				89.6
4	(12) 角の二等分線の作図について正しく意味を理解している	○			○					○	○				45.9
5 (1)	(13) 直方体を構成する面について理解している	○								○	○				87.8
5 (2)	(14) 円周の長さを直径から求めることができる	○			○				○			○			44.8
5 (3)	(15) 正四角錐の体積を求めることができる	○			○				○			○			39.0
6 (1)	(16) 反比例の意味を理解している	○			○					○	○				59.5
6 (2)	(17) 一次関数の表から、変化の割合を求めることができる	○			○				○			○			45.8
6 (3)	(18) 反比例のグラフから表を選ぶことができる	○			○				○			○			46.3
7	(19) 度数分布表から相対度数を求めることができる	○					○		○			○			35.7
8	(20) 文字を用いて、関係や法則を式にしたり、式の意味を読みとったり、式を計算したりすることができる		○	○						○			○		31.0
9	(21) 具体的な事象の中にある二つの数量の変化や対応を調べることを通して、関係や変化をとらえることができる		○		○				○				○		32.2
10 (1)	(22) 与えられた情報をよみとり、事象を数学的に解釈することができる		○		○				○			○			22.0
10 (2)	(23) 具体的な事象の中にある図形的な特徴を読みとることができる		○		○				○			○			44.6
11 (1)	(24) 具体的な事象を数学的にとらえ、文字式で表すことができる		○	○					○				○		7.4
11 (2)	(25) 必要な情報を読みとり、正の数・負の数の計算を通して、数学的に解決することができる		○	○					○				○		15.3

中学校第2学年 社会（地理的分野）

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
問題	主として「知識」に関する問題	8	48.0
	主として「活用」に関する問題	5	33.1
学習指導要領の領域	世界の地域構成	3	50.2
	世界各地の人々の生活と環境	2	68.2
	世界の諸地域	5	48.3
	世界のさまざまな地域の調査	0	-
	日本の地域構成	1	34.0
	世界と比べた日本の地域的特色	2	27.2
評価の観点	社会的事象への関心・意欲・態度	0	-
	社会的な思考・判断・表現	3	33.7
	資料活用の技能	6	40.2
	社会的事象についての知識・理解	4	48.5
問題形式	選択式	8	48.5
	短答式	2	44.1
	記述式	3	27.6

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域						評価の観点			問題形式			県全体正答率（%）
				世界の地域構成	世界各地の人々の生活と環境	世界の諸地域	世界のさまざまな地域の調査	日本の地域構成	世界と比べた日本の地域的特色	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	選択式	短答式	
1 (1)	(1) 東京を中心とした正距方位図法から、地球表面の姿を読み取ることができる	○		○								○		○		61.6
1 (2)	(2) 東京を中心とした正距方位図法から、地球表面の姿を読み取ることができる	○		○								○		○		38.0
1 (3)	(3) 写真資料から、世界各地の様子を読み取ることができる	○		○								○		○		51.1
2 (1)	(4) 世界の主な宗教の分布について理解している	○			○							○		○		73.4
2 (2)	(5) 特色ある自然環境（乾燥帯）と生活様式（住居）を関連付けて、選択肢から正しいものを選ぶことができる		○		○					○				○		62.9
3 (1)	(6) アジア州の地域区分について正しく理解している	○				○						○		○		72.6
3 (2)	(7) 東南アジアの地域的な結びつきについて理解している	○					○					○		○		52.1
3 (3)	(8) 資料から、東南アジアの地域的特色について読み取ることができる		○			○						○			○	26.5
4 (1)	(9) 資料から、アフリカの地域的特色について読み取ることができる	○				○						○		○		62.6
4 (2)	(10) 複数の資料から読み取ることのできる情報をもとに、アフリカの産業の課題について説明することができる		○				○				○				○	27.7
5 (1)	(11) 日本の都道府県の位置や地方区分について正確に理解している	○						○				○		○		34.0
5 (2)	(12) 資料から、日本の交通の発達の様子について選択肢から正しいものを選ぶことができる		○						○			○		○		29.7
5 (3)	(13) 複数の資料から読み取ることのできる情報をもとに、日本の農業の特色について説明することができる		○							○					○	24.6

中学校第2学年 社会 (歴史的分野)

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
問題	主として「知識」に関する問題	8	48.0
	主として「活用」に関する問題	4	33.1
学習指導要領の領域	歴史のとらえ方	1	23.1
	古代までの日本	3	42.0
	中世の日本	7	34.1
	近世の日本	5	46.8
評価の観点	社会的事象への関心・意欲・態度	0	-
	社会的な思考・判断・表現	3	33.7
	資料活用の技能	1	40.2
	社会的事象についての知識・理解	8	48.5
問題形式	選択式	6	48.5
	短答式	3	44.1
	記述式	3	27.6

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率 (%)
				歴史のとらえ方	古代までの日本	中世の日本	近世の日本	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	選択式	短答式	
6 (1)	(14) 聖徳太子、足利義満の行った政治について理解している	○		○	○				○	○			56.0	
6 (2)	(15) 室町時代のできごとについて理解している	○			○				○	○			34.8	
6 (3)	(16) 「鎖国」下における我が国の対外関係について理解している	○				○			○	○			59.2	
7 (1)	(17) 年代(世紀)の表し方について理解している	○	○						○		○		23.1	
7 (2)	(18) 各時代と関係の深い中国の王朝名について理解している	○		○	○				○	○			42.2	
7 (3)	(19) 資料から、鎌倉幕府、室町幕府、江戸幕府のしくみを読み取ることができる	○			○	○		○		○			39.6	
7 (4)	(20) 南蛮貿易、朱印船貿易の特徴について説明することができる	○			○			○				○	23.0	
8 (1)	(21) 奈良の大仏に關係の深い人物と文化について理解している	○		○					○		○		27.9	
8 (2)	(22) 応仁の乱後の下剋上の風潮について説明することができる	○		○	○			○				○	43.0	
8 (3)	(23) 江戸時代の大阪のようすについて理解している	○				○			○	○			44.0	
9 (1)	(24) 源頼朝の政策と江戸時代の農業の様子について理解している	○			○	○			○	○			35.3	
9 (2)	(25) 承久の乱、刀狩についてその内容と結果について説明することができる	○		○	○			○				○	20.9	

中学校第2学年 理科

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	17	43.8
	主として「活用」に関する問題	8	42.6
学習指導要領の領域	物質	6	33.3
	エネルギー	7	39.3
	生命	8	51.8
	地球	4	48.9
評価の観点	自然現象への関心・意欲・態度	0	-
	科学的な思考・表現	8	47.6
	観察・実験の技能	3	70.2
	自然現象についての知識・理解	14	35.2
問題形式	選択式	7	48.2
	短答式	13	35.8
	記述式	5	56.4

設問別集計結果

設問番号		出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式	県全体正答率(%)	
					物質	エネルギー	生命	地球	自然現象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能			自然現象についての知識・理解
1	(1)	(1) 化学変化によって、原子の種類が変化しないことを理解している。	○	○							○	○		17.8
1	(2)	(2) 気体の発生の方法について、理解している。	○	○							○	○		39.3
1	(3)	(3) 水溶液の性質及び溶解度について理解している。		○	○				○				○	38.1
2	(1)	(4) 糖の検出方法について理解している。	○				○				○	○		34.6
2	(2)	(5) 実験条件の設定の理由について理解している。		○			○			○			○	74.9
2	(3)	(6) 対照実験について、変える条件と変えない条件を判断できる。		○			○				○			61.0
3	(1)	(7) 顕微鏡を正しく操作することができる。	○				○			○				64.8
3	(2)	(8) 顕微鏡を正しく操作することができる。	○				○			○				71.2
3	(3)	(9) マツの花のつくりについて理解している。	○				○				○	○		26.8
4	(1)	(10) 複数の実験結果から、考察のために必要なものを選択することができる。		○			○				○			35.9
4	(2)	(11) 複数の実験結果から、考察のために必要なものを選択することができる。		○			○				○			45.0
5	(1)	(12) 溶媒と溶質について理解し、質量パーセント濃度を求めることができる。	○	○							○	○		16.5
5	(2)	(13) 溶解度曲線から、温度が低下することによって溶質が析出することを読み取ることができる。		○	○				○				○	49.3
5	(3)	(14) 溶質を取り出す方法について、理解している。	○	○							○		○	38.7
6	(1)	(15) 実験結果を正しくグラフに表すことができる。	○				○			○			○	74.6
6	(2)	(16) 重りの重さとばねの伸びが比例していることを理解している。	○				○				○	○		82.8
6	(3)	(17) 浮力について理解している。	○								○	○		8.6
6	(4)	(18) フックの法則について		○	○				○				○	20.9
7	(1)	(19) 音の速さを求めることができる。	○				○				○	○		17.0
7	(2)	(20) 音が伝わる時間と速さから、距離を計算することができる。		○	○						○	○		15.4
7	(3)	(21) 音の速さと光の速さについて理解している。	○						○				○	55.5
8	(1)	(22) 震度とマグニチュードの違いを理解している。	○				○				○	○		40.7
8	(2)	(23) 地震を引き起こす波と、揺れについて理解している。	○				○				○	○		52.1
8	(3)	(24) 地震による災害について理解している。	○				○				○	○		83.0
8	(4)	(25) 岩石の種類と特徴について理解している	○				○				○	○		19.9

中学校第2学年 英語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	18	49.0
	主として「活用」に関する問題	5	21.6
学習指導要領の領域	聞く	6	61.8
	読む	12	42.4
	書く	5	21.6
	表現	5	21.6
評価の観点	理解	15	46.1
	言語・文化	3	62.6
	選択式	14	54.9
問題形式	短答式	2	15.4
	記述式	7	26.9

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				聞く	読む	書く	表現	理解	言語・文化	選択式	短答式	記述式	
1 (1) 1	英語を聞いて絵の状況を適切に表現しているものを選ぶ	○		○			○		○			65.4	
1 (2) 2	英語を聞いて絵の状況を適切に表現しているものを選ぶ	○		○			○		○			95.3	
2 (1) 3	英語で何を問われているかを理解し、適切な答えを選ぶ	○		○			○		○			51.1	
2 (2) 4	英語で何を問われているかを理解し、適切な答えを選ぶ	○		○			○		○			78.6	
2 (3) 5	英語で何を問われているかを理解し、適切な答えを選ぶ	○		○			○		○			—	
3 (1) 6	英語の対話文を聞いて、その内容についての質問に対する答えを選ぶ	○		○			○		○			65.3	
3 (2) 7	英語の対話文を聞いて、その内容についての質問に対する答えを選ぶ	○		○			○		○			—	
3 (3) 8	英語の対話文を聞いて、その内容についての質問に対する答えを選ぶ	○		○			○		○			15.3	
4 (1) 9	英文を読み、内容から考えて空所に入る適切な語を選ぶ	○			○				○	○		48.2	
4 (2) 10	英文を読み、内容から考えて空所に入る適切な語を選ぶ	○			○				○	○		72.0	
4 (3) 11	英文を読み、内容から考えて空所に入る適切な語を選ぶ	○			○				○	○		67.6	
5 (1) 12	英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶ	○			○			○		○		35.5	
5 (2) 13	英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶ	○			○			○		○		40.0	
5 (3) 14	英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶ	○			○			○		○		41.5	
6 (1) 15	英語で書かれた情報を読み取り、質問に日本語で答える	○			○			○			○	58.8	
6 (2) 16	英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶ	○			○			○		○		47.9	
6 (3) 17	英文の内容から判断して、状況に合う適切な単語を選ぶ	○			○				○			45.0	
6 (4) 18	英語で書かれた情報を読み取り、質問に日本語で答える	○			○			○			○	21.7	
7 (1) 19	前後の英文から意味のつながりを考えて、空所に入る適切な英文を書く		○			○					○	19.3	
7 (2) 20	前後の英文から意味のつながりを考えて、空所に入る適切な英文を書く		○			○					○	15.3	
7 (3) 21	前後の英文から意味のつながりを考えて、空所に入る適切な英文を書く		○			○					○	18.3	
8 (1)ア 22	英文を読み、その内容に関する質問に対して英語で答える	○			○			○			○	22.7	
8 (1)イ 23	英文を読み、その内容に関する質問に対して英語で答える	○			○			○			○	8.1	
8 (2) 24	前後の文脈に合うように、空所に入る適切な英文を書く		○			○					○	18.7	
8 (3) 25	条件に合うように内容を考えて英文を書く		○			○					○	36.2	